オンラインフォーラム『COVID-19影響下での大学体育授業実践』

企　画　趣　旨

九州大学教授　**杉　山　佳　生**

今回のCOVID-19感染症の流行により，学校教員は，オンライン授業の実施や，感染対策を徹底した授業実践を求められ，これは，体育も，例外ではなかった。「自宅の部屋でできる体力トレーニング」，「ソーシャル・ディスタンスを保って行うスポーツ」，「オンラインでの運動スキル評価」など，これまでほとんど考えることのなかったことを考えなければならなくなり，大学においても，多くの教員が，短い時間の中で，様々な可能性を視野に入れながら，新しい形態の授業の構築を試みてきたのではないかと思われる。そこで，今回のオンラインフォーラムでは，このような状況下において，各大学がどのような授業実践を行ってきたのかを紹介してもらい，先生方の経験や知恵，アイデアを共有することを目的とした。この事例の提示に際しては，授業効果に関するデータや研究結果は，特に求めないこととした。これまでに想定していなかった環境下で行う授業等の効果を的確に評価しうる十分なエビデンスを収集する時間はなく，また，目の前の事態に即応するためには，客観的な証拠が蓄積されるのを待つよりも，合理的思考に基づいて「判断」していくことの方が有効であると考えられることから，今回のフォーラムでは，工夫を凝らして行われた実践事例を集めることに主眼を置くこととした。具体的には，下記の大学に，実践事例の報告を依頼した。

福岡県	九州大学（杉山佳生）
	福岡大学（古瀬裕次郎先生）
	九州産業大学（阪田俊輔先生）
佐賀県	西九州大学（西田明史先生）
長崎県	長崎国際大学
	（熊谷賢哉先生，神野周太郎先生）
熊本県	熊本学園大学（藤塚千秋先生）
大分県	別府大学短期大学部（中山正剛先生）
宮崎県	九州保健福祉大学（山本順之先生）
鹿児島県	鹿児島大学（高橋恭平先生）
沖縄県	名桜大学（仲田好邦先生）
九州外	中央大学（森正明先生）
	武蔵野美術大学（北徹朗先生）
	東北大学（藤本敏彦先生）

報告の依頼にあたっては，九州の各県から少なくとも1校を選ぶこと，加えて，九州における大学体育実践活動に関心をお持ちの九州外の先生方にお願いをすることとした。その結果，それぞれに創意工夫がなされている多様な事例が集まった。特に，「九州外」については，これまでも大変お世話になっている，森正明先生，北徹朗先生，藤本敏彦先生から，貴重な実践事例をご紹介いただくことになった。この場を借りて，改めて御礼申し上げます。

また，限られた時間内で，できるだけ多くの大学からの情報を得たいということで，九州内の大学は5分，九州外の大学でも10分での発表をお願いした。発表資料も，九州内においては，スライド2枚との制限を設けた。実際は，「概要」からはわからない細かな部分に，真に役立つ情報が含まれているのだろうが，とりあえずは，「広く，浅く」というスタンスを取ることにし，詳細を知りたい場合は，個別に連絡を取って情報交換をしてもらうということで，ご容赦いただくことにした。いずれにしても，教育理念や教育環境は，大学ごとで異なっている場合が多く，最終的に役立つのは，「統一的な方法」ではなく，「それぞれの大学に適合した独創性のある方法」であると個人的には考えており，そのために役立つ情報提供のあり方として，今回の方法を採用したということになる。この点もご理解の上，次ページ以降の発表資料等をご覧になっていただければ，幸甚である。

杉山　佳生（九州大学）

九州大学　1

R2/3春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」

COVID-19影響下での大学体育授業実践

九州大学の対応

九州大学　杉山佳生

基幹教育（一般教育）の対応

前期

・すべての科目を遠隔で実施

・開始時期の後倒し（GW明けに開始）　→　１５週を１４週に短縮

・学期当初は，春学期（前期前半）は全授業オンライン，夏学期（前期後半）は未定であった。
　→　６月２日に，夏学期もオンラインとすることが決定

後期

・講義系科目は，原則，オンライン

・演習・実習系科目は，対面かオンラインを選択（申請）：ただし，十分な対応策を要する
　→ 身体運動科学実習は，対面を選択
　　（その他，討議系必修科目，実験系科目，外国語科目の一部で，対面授業を実施）
　※　緊急事態宣言を受けて，1月14日より学期末まで，対面授業は全面的に中止

九州大学　2

健康・スポーツ科目の対応

前期

・「実習」は，開講中止（4コース），もしくは，後期に移動（4コース）

・全学必修の「健康・スポーツ科学演習」（54コース）は，オンラインに変更

・「健康・スポーツ科学演習」の実施内容
　－ 大学の映像資料に従っての自主実習（3回）
　　　ストレッチング，リラクセーション，体育会サークルが作成したトレーニング動画
　－ テキストを基にしての演習/実習の自主実施（3回）
　　　脈拍測定と計算課題，体力測定法の理解とトレーニング実践，栄養・身体活動量評価
　－ テキストの「理論編」を読んでのレポート作成（5回）
　－ その他（3回）

後期

・身体運動科学実習（いわゆる，スポーツ実習：37コース）は，下記の対策をして，対面で実施
　－ 同一時限内のコースの開始時刻をずらす，（一部のコースで）普段着での参加を認める
　　　（入替時や更衣室等の「密」を避けるため）
　－ 入館時に手指消毒，授業時間中も数回の手指消毒・手洗い
　－ サッカー，バスケットボール等の一部種目を除いて，原則，運動中もマスク着用
　　　（運動強度を，マスクを着用したままでも可能な程度に調整・制限）
　－ 体調不良者，通学不安者等に対しては，オンライン授業を実施（アダプテッドコースを活用）

　※対面授業中止後は，課題提示あるいはオンラインで対応（2～3回）

古瀬　裕次郎（福岡大学）

COVID-19 影響下における大学体育授業実践

開始: 4月24日（2週間延期）＋**GWが授業日**　（授業回数は前期14回、後期15回）

形式: 遠隔授業（オンデマンド/オンラインは選択自由）

前期）すべて遠隔授業
後期）原則遠隔/10月頃対面授業解禁（申請必要）

【オンライン】
Webexを使用

【オンデマンド】BOXを使用

2020年11月○日
生涯スポーツ演習Ⅱ

生涯スポーツ演習Ⅱ【11回目（○曜○限）】

担当　長嶺、大関、○○、他

1. 講義内容
今回の講義内容は「バスケットボールの技術について」です。
生涯スポーツ演習の授業では原則、オンデマンド（録画資料による受講）式となります。
下記URLより受講を行ってください。受講後に小テストに回答してください。
〈講義資料〉
動画： https://fukuoka-u.box.com/s/f3r95jcs45unavkgju3n5c7rh8pg654s
PDF： https://fukuoka-u.box.com/s/z6kznxqthue7lz424452q24ula07ssfc

2. 授業のまとめ
本日の講義内容を1ページ程度でまとめましょう。

3. 小テスト
「FUポータル→授業管理（学生）→小テスト」を通して回答してください。

授業まとめ及び小テストの回答・提出期限は 11月○日（23時59分59秒）までとなります。

バスケットボール授業動画
（作成: 福岡大学スポーツ科学部助手室）

人をつくり、時代を拓く。
福岡大學

COVID-19 影響下における大学体育授業実践

【発生した問題・課題】

受講人数: 約5,000名（約300クラス）
教員数: 常勤約25名、非常勤約30名
▶ 教員それぞれで資料を作成すべきか？

常勤がすべて作成し
非常勤も同じ資料を使用
（平等性と質の担保 かつ 緊急を要したため）
▶ 前期: 非常勤コマも常勤が担当
後期: 各担当が自分のコマを担当
（授業資料は前期からアップデート）
（後期オリジナル内容も導入）
（非常勤講師にも資料作成を依頼）

8月中
・採点に2－3週間（非常勤含）、すぐに後期計画を開始
・非常勤にオンデマンド授業実施

【実際に実施してみて】

協力して作成した資料で授業の質を担保することは可能
後期は学生の授業対応より、非常勤への授業救援が多い

人をつくり、時代を拓く。
福岡大學

阪田　俊輔（九州産業大学・現横浜商科大学）

KSU｜九州産業大学

R2/3春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」

COVID-19影響下での大学体育授業実践

九州産業大学　健康・スポーツ科学センター　阪田俊輔

授業進行について

令和2年度一般体育科目（スポーツ科学演習）の流れ

コマ数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	備　考
前期	ガイダンス（資料）	遠隔課題				ガイダンス（対面）	対面授業の実施（卓球・バドミントン）／遠隔課題								6月より，希望者のみ対面授業
後期	ガイダンス（対面）	対面授業（バドミントン，卓球，ソフトボール，フットサル，バレーボール）													配慮が必要な学生，通学が困難な学生のみ遠隔課題

対面授業進行の1例

時間	教場	10:50	11:00	11:10	11:20	12:00	12:10	12:30	12:40
教員A	メインA	更衣	授業開始			授業終了	更衣		
教員B	メインB		更衣	授業開始			授業終了	更衣	
教員C	卓球場			更衣	授業開始			授業終了	更衣

遠隔課題について

1)　メンタルヘルス悪化を防止するために

ストレスへの対処（ストレスコーピング）とは、ストレッサーにより心身の状態が悪化することを防ぐための、意識的・無意識的な行動のことをいいます。ストレッサーからメンタルヘルス悪化までのプロセスの各段階でその内容が区別されます。

①　ストレッサーへのアプローチ：ストレスの原因自体を取り除く

例）楽観的な思考をする、目標をもつ

②　認知的評価へのアプローチ：ストレッサーに対する、脅威性の評価を変える

③　ストレス反応（短期的効果）へのアプローチ：ストレッサーにより、発生した心身の変化を解消する

※ここで説明するストレスコーピングは、あくまで個人でコントロール可能な水準のストレスについてのものです。特にライフイベントと呼ばれるストレッサーを経験した場合、それは一足にこころの病気につながることがあります（トラウマ反応、PTSDと呼ばれる状態）。そのような場合には、無理に個人で対処するのではなく、専門とするカウンセラーに相談する必要があります。

1.　ストレス・ストレス対処についての自己分析

ストレスコーピングは、過去のストレスの経験から学習されていきます。現在感じているスト（ストレッサー）を一つ記述し、それに対しどのようなストレスコーピングを行っていたかを下そのストレスコーピングがうまくいった、もしくはうまくいかなかったかを分析してください。

①　ストレッサー

②　実施したストレスコーピング

③　うまくいったか、うまくいかなかったか（そう考える理由も記述）

参考HP

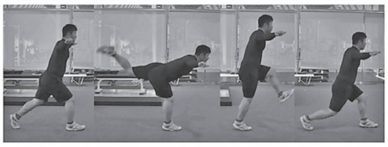
①　厚生労働省「みんなのメンタルヘルス」
https://www.mhlw.go.jp/kokoro/index.html

②　文部科学省 CLARINET 在外教育施設安全対策資料【心のケア編】第2章　Ⅱストレス
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/clarinet/002/003/010/004.htm

①左、②右

【全身運動(トレーニング)】

○ストレートレッグ・デッドリフトウォーク



ストレートレッグ・デッドリフトウォークはハムストリングスのアクティブストレッチであり，片足立ちでのバランスを保つために，足関節周囲筋の固有受容器に良い刺激を与えられる．この動作によって支持脚のハムストリングスがダイナミックにストレッチされ，もう一方の足のハムストリングスが股関節伸筋として働く．

授業回	タイトル	内容
1	ガイダンス	資料のみ
2	生活習慣病の実態と皆さんが持つリスクについて	資料・課題記入
3	こころの健康について	資料・課題記入
4	簡単な運動の実施と、気分変化の記録	運動実施・小レポート
5	簡単な運動の実施と、気分変化の記録	運動実施・小レポート
6	運動・トレーニングの効果①　身体的効果について	資料・課題記入
7	運動・トレーニングの効果②　心理的効果について	資料・課題記入
8	運動強度と身体的な変化	運動実施・小レポート
9	運動強度と身体的な変化	運動実施・小レポート
10	運動とコミュニケーション（仮）	資料・課題記入
11	コミュニケーション測定（仮）	資料・課題記入
12	運動継続の方法	資料・課題記入
13	目標設定・運動計画の立案（運動を実施しての感想まで）	運動実施・小レポート
14	最終レポート	レポート

補　足

特に前学期において，学生のIT環境が整っておらず，スマートフォンで検索可能な情報を用いた課題を提示した．

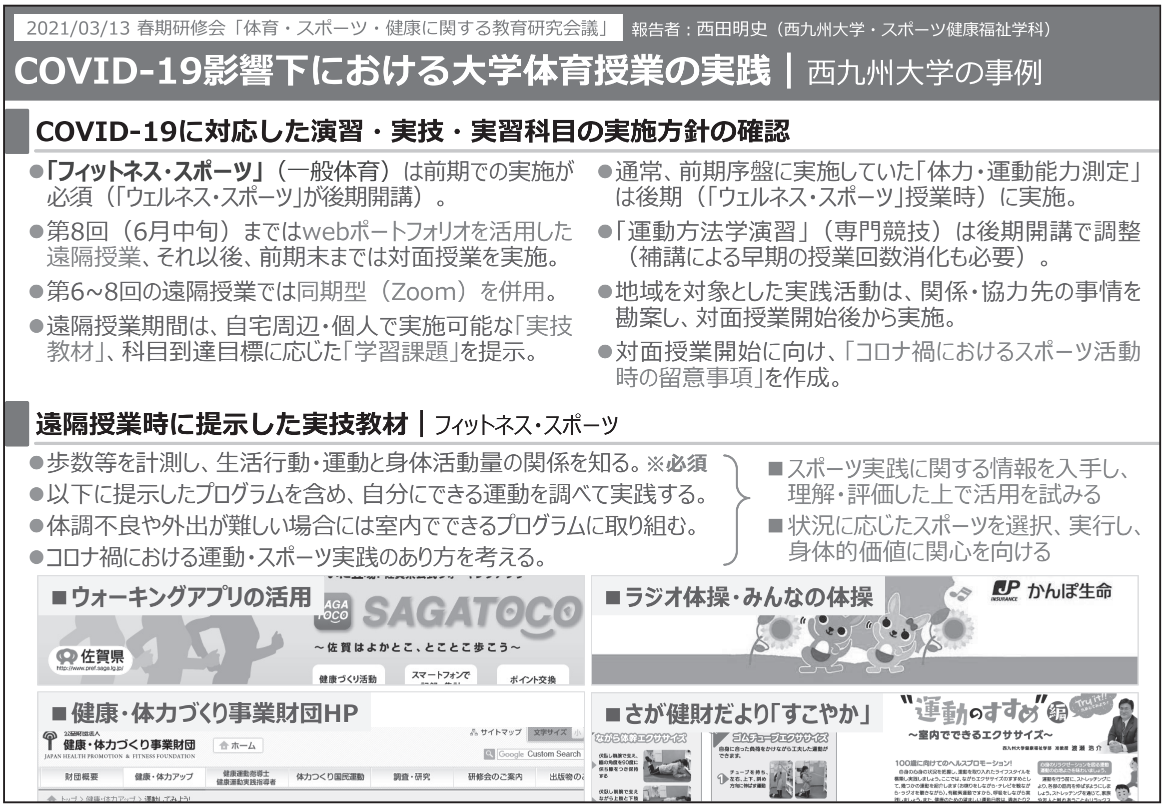
運動課題は，室内・個人で実施可能なものを提示し，心拍数の変化や，感情変化を測定させた．

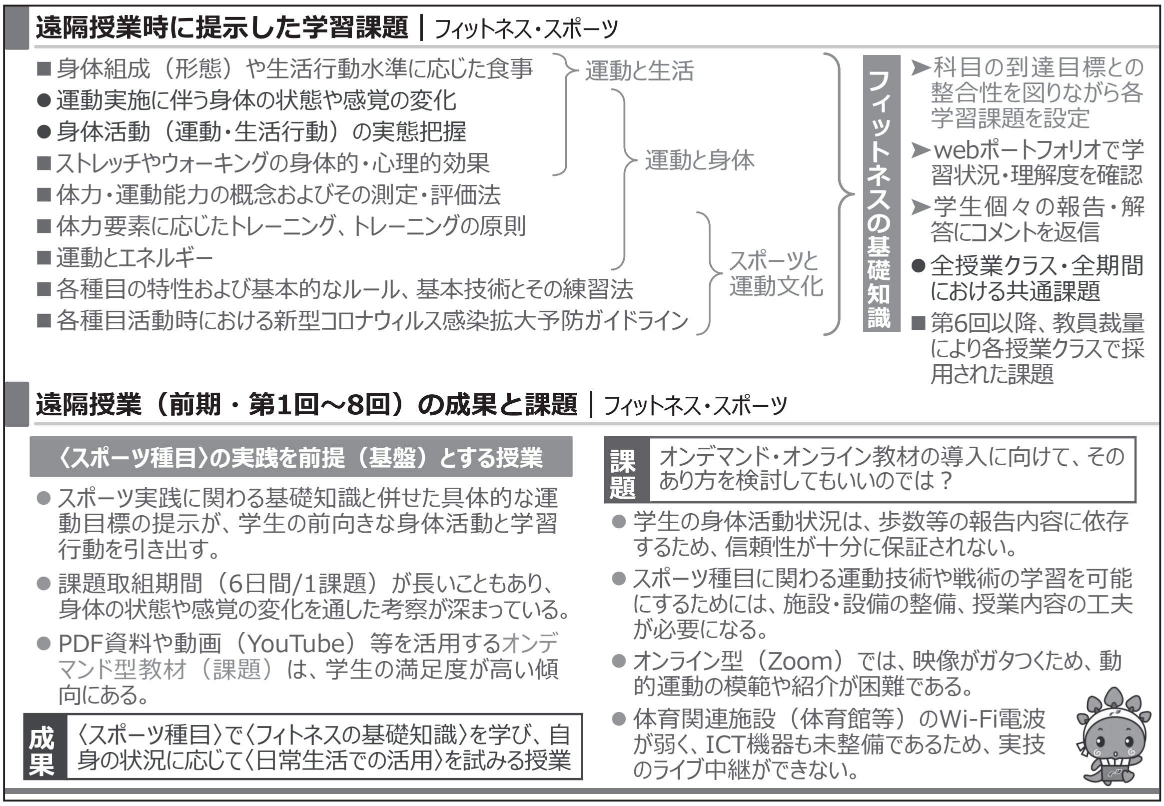
課　題

健康・運動に関する基礎知識の獲得と自発的な運動の促進を目標としたが，「監督者がいない」という状況において，計画的に遠隔課題に取り組めない学生が少なくなく（学生の３０％が毎日ポータルサイトを確認しない），目標が達成できたとは言えず，また単位認定に至らない学生が例年より増加した．

後学期は，9割近くが対面授業に出席したが，途中から遠隔課題を希望する，事後報告で遠隔課題を求める等，出席の平等性に困難があった．

西田　明史（西九州大学・現中村学園大学）





Nagasaki International University

R2.春期研修会「体育・スポーツ健康に関する教育研究会議」
COVID-19影響下での大学体育授業実践

長崎国際大学の対応（ｽﾎﾟｰﾂ関連科目）

長崎国際大学　熊谷賢哉　神野周太郎

科目	前期		科目	後期
ｽﾎﾟｰﾂ実習A	不開講		ｽﾎﾟｰﾂ実習B（4ｺﾏ）	対面
ｽﾎﾟｰﾂ実習C（ｷｬﾝﾌﾟ）	不開講		ｽﾎﾟｰﾂ実習D（ｽｷｰｽﾉﾎﾞ）	不開講
球技B（ﾊﾞｽｹ）	後期	➡	球技B（ﾊﾞｽｹ）	対面
器械体操	後期	➡	器械体操	対面
ｴｱﾛﾋﾞｸｽ	後期	➡	ｴｱﾛﾋﾞｸｽ	対面
陸上競技	後期	➡	陸上競技	不開講
ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞ・ｳｫｰｷﾝｸﾞ	ｵﾝﾗｲﾝ		ﾀﾞﾝｽ	対面
球技A（ﾊﾞﾚｰ）	不開講		武道	対面
水泳	不開講		ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ	対面
ﾚｼﾞｽﾀﾝｽﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	不開講		球技C（ｻｯｶｰ）	不開講
ﾏﾘﾝｽﾎﾟｰﾂ	不開講		ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ活動研究	不開講

Nagasaki International University

ジョギング・ウォーキング

・スポーツツーリズムコース実技科目（選択、1単位）
・健康運動実践指導者資格必須科目　　受講者数：48名

スマートフォンのアプリを利用した課題

ジョグ・ウォーク記録をデータ化
ースプレッドシートで管理しよう！ー

共有
リアクション
双方向性

ウォーキング姿を 撮影 & 観察

iPhoneのアプリ：「iMovie」
編集方法
https://youtu.be/AsRnfFTBy6o

Androidのアプリ：「いろいろあります」
編集方法
https://filmora.wondershare.jp/video-editing-app/top-android-video-combine-app.html

藤塚　千秋（熊本学園大学）

九体連春期研修会　体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議
COVID-19影響下での大学体育授業実践

熊本学園大学の対応

藤塚　千秋

春学期（4/20～8/1）

- 4/20～すべての科目を遠隔で実施
- 6/4～段階的に対面授業を実施

（演習、実技、実習科目および履修者が30名程度の科目）

- 7/2～履修者50名程度の科目も追加

→　健康科学系科目：講義は遠隔、実技は遠隔→対面

秋学期（9/23～1/25）

- 演習、実技、実習科目および履修者が60名未満の科目は対面授業を実施

→　健康科学系科目：講義は遠隔、実技は対面

- 感染者の複数発生を受けて、12/15～19の対面授業は休講、12/21～1/18はすべての科目を遠隔で実施、1/19～1/25（授業最終週）のみ該当科目は対面授業を実施

1

健康科学系科目（2単位必修）の対応

講義（2単位）

- 遠隔授業：LMS「manaba」をベースに用いて行うことを統一

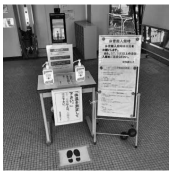
→　①オンデマンド　②同時双方向　③その他（各教員の判断）

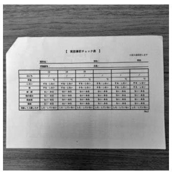
実技（1単位）

- 遠隔授業期間：講義と同様の形式（ガイダンス、歴史、ルールなど）

- 対面授業可能期間：下記の対策を行うことを統一

✓三密を避けるための種目変更（例：卓球→複合種目）
✓入退館時の手指消毒、検温、体調チェック表記入の義務付け
→　活動時間は正味60分ほどでも可とする
✓運動中のマスク着用（任意）
✓使用用具によって可能なものは、利用者が特定できるようにする（例：ラケット）
✓使用用具の消毒
✓体調不良者、通学不安者等に対しては、各教員で柔軟な対応を行う





2

髙橋　恭平（鹿児島大学）

コロナ禍における鹿児島大学の共通体育

鹿児島大学 総合教育機構 共通教育センター 体育・健康教育部門　　髙橋 恭平

鹿大の共通体育は必修：理論 8回，実習 15回

【前期】

●4/8 前期開始　☛　4/20 に延期，「遠隔」で

●5/21 一部「対面」開始

→　共通体育は全て「遠隔」で実施

【後期】

●10/1 後期開始，「スクーリング」期間設定

●11/16 初の COVID-19 陽性者判明

●12/4 一部「対面」再開，「スクーリング」再開

●1/4 から共通テストまで「遠隔」

●1/18 一部「対面」再開

→　共通体育（実習）は4回「対面」実施

コンディションチェック

チェック項目			6/8（月）	6/9（火）	6/10（水）	6/11（木）	6/12（金）	6/13（土）	6/14（日）
朝	1.体温37.5℃以上								
	2.咳がでる								
	3.呼吸が苦しい								
	4.のどが痛い								
	5.鼻水、鼻づまり								
	6.だるい								
	7.味がしない								
	8.匂いがしない								
夜	9.手洗い・うがい								
	10.自主的運動	何を							
		どれ程の強度で							
		何分（数字のみ）							

運動時間合計　0 分/週

1週間のチェック結果に対する考察	

新入生ストレスチェック（5月・8月・10月・2月）

自律神経症状，疲労・身体反応，不安・不確実感，うつ気分・不全感

PHRF ストレスチェックリスト・ショートフォーム（今津ら，2006）を一部改変

今年度頻用したＩＣＴツール

理論（座学講義・全8回）

●前後期全て遠隔授業

☛ ほとんど同期型：zoom

☛ 一部で非同期型：オンデマンド（OneDrive）

～ zoom 遠隔授業の一例 ～

あなたのおススメのストレス対処法を教えて下さい

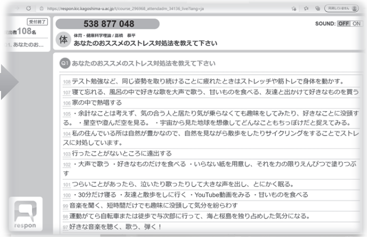
538 877 048　回答をもって今日の出席とします

【回答例】

①桜ヶ丘の坂ダッシュ

②プチプチをひたすら潰す

③風呂コンサート



実習（実技体育・全15回）

●遠隔授業はオムニバス形式

●前期は全て zoom 遠隔授業

●後期は対面・遠隔ハイブリッド授業

☛ 対面は4回実施

☛ 対面回は受講前に全員検温と手指消毒

中山　正剛（別府大学短期大学部）

令和 2/3（2020/21）年度春期研修会
「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」　大分県：中山正剛（別府大学短期大学部）

≪前期≫授業名：体育実技Ⅰ（受講者45名）　生涯スポーツ　社会人基礎力

【到達目標】
⑴豊かで健康的な学生生活や社会生活を送るために，日常生活において運動行動を継続させる方法を，「体育の宿題」などを通し，実践できる．また，安全に運動するために熱中症について理解を深める．
⑵社会人基礎力の向上を意図し，他者とのコミュニケーションや集団でのチームワーク，リーダーシップ，課題解決などのスキルを高めるための行動を，「活動的アイスブレイク」や「スポーツ活動」を通して理解し，実践できる．

- □ 第1回（4/28）～第8回（6/23）まで遠隔（オンデマンド）授業
- □ 本学のLMSはMOODLEを活用
- □ 第9回以降は対面授業（第15回はオンデマンド）
- □ オンデマンド授業は，「日常生活の活動記録，コロナ禍での運動の注意点，運動行動変容，ストレッチや筋トレなどの効果的な実践方法，運動と健康について，体育の宿題，熱中症について」を実施
- □ 対面授業は，ドッヂビー，バレーボール，バドミントンを各2回

『COVID-19 影響下での大学体育授業実践』 令和 3（2021）年 3 月 13 日（土） 中山正剛（大分県）

第4回（5月26日）
<今日の内容>
・健康日本21を参考にした「身体活動・運動を通した健康増進」を理解する．
・厚生労働省が提唱する「アクティブガイド」（＋10）を理解する．
・5/26（火）～5/30（土）に実施した運動・スポーツを毎日記録し振り返る（セルフモニタリング）．

①身体活動・運動を通した健康増進
②アクティブガイド
第4回課題（3）
5/29（金）_日常運動スポーツの記録（入力）
5/30（土）_日常運動スポーツの記録（入力）
5/26（火）～5/30（土）の振り返り

Moodleの例　　体育の宿題の例

体育の宿題　記録シート

学籍番号　T2012345　　氏名　別府　花子

6月9日～6月15日

今週の身体活動に関する行動目標

○○
○○
○○

		6/9 火	6/10 水	6/11 木	6/12 金	6/13 土	6/14 日	6/15 月	ポイント（〇の数）	上限
日常身体活動		○		○	○	○	○		5	7
エクササイズ	全身持久力		○	○	○			△	3.5	5
	柔軟性	○	○		○			○	4	5
	筋力/筋持久力		○		△	○			2.5	

✓日常生活の活動記録は，「今日の体温，今日の体調，筋力トレーニングの種目と回数（例：腕立て伏せ20回×2セット，スクワット30回，腹筋30回），ストレッチの時間（分），歩いた・走った時間（分），歩いた歩数」を入力した．

✓オンラインでの**「運動行動の促進・継続」**のためのアプローチとしては，「現状把握⇒運動行動変容について⇒効果的な運動方法の紹介⇒体育の宿題による行動の変容」の流れで実施した．

✓対面では，**「社会人基礎力」**のコミュニケーションとチームワークを特に意識して実施した．コロナ対策としては，「窓を開ける，授業前後・休憩時間にアルコール消毒の実施，一斉に更衣する人数を減らす（特に授業後），ハイタッチではなくエルボータッチ，マスクは基本的に着用（あまり心拍数を上げないように工夫）」とした．

〔課題〕到達目標である「社会人基礎力の向上」については，オンライン授業ではほぼ達成できなかった．

『COVID-19 影響下での大学体育授業実践』 令和 3（2021）年 3 月 13 日（土） 中山正剛（大分県）

KUHW 九州保健福祉大学

『COVID-19 影響下での大学体育授業実践』

九州保健福祉大学の対応

九州保健福祉大学　山本順之

生涯スポーツ実習（一般体育）

【前期】（5月7日～8月26日）

・5月7日より授業開始（遠隔） → 宮崎県公式アプリ「SALKO」を活用 → ウォーキング・ジョギングの課題
- ・スクリーンショットで画面を提出
- ・レポートの提出

・6月1日より対面授業開始 → 実技科目は2週間延期

・6月15日より実技対面授業開始 → 感染症対策
- 3密回避 → バドミントン・シングルス（マスク着用）
- 用具の消毒
- 授業前後の手洗い・うがい・検温・消毒

【後期】（9月25日～2月1日）

・9月25日より対面授業開始

・12月3～6日コロナ発生により休校

・1月5日授業開始（遠隔） → 体幹トレーニングの課題（動画）

- ・動画の提出
- ・レポートの提出

学校法人 順正学園 Junsei Educational Institution

KUHW 九州保健福祉大学

スポーツ実習（専門科目）

【前期】（5月7日～8月26日）

・5月7日より授業開始（遠隔） → 講義中心 → 実技は6月以降もしくは集中講義形式 → 水泳は2クラスの少人数で実施（感染症対策）

・キャンプ実習は中止 → 成績は保留 → 2021年度に同時開講

【後期】（9月25日～2月1日）

・9月25日より授業開始（対面） → 感染症対策

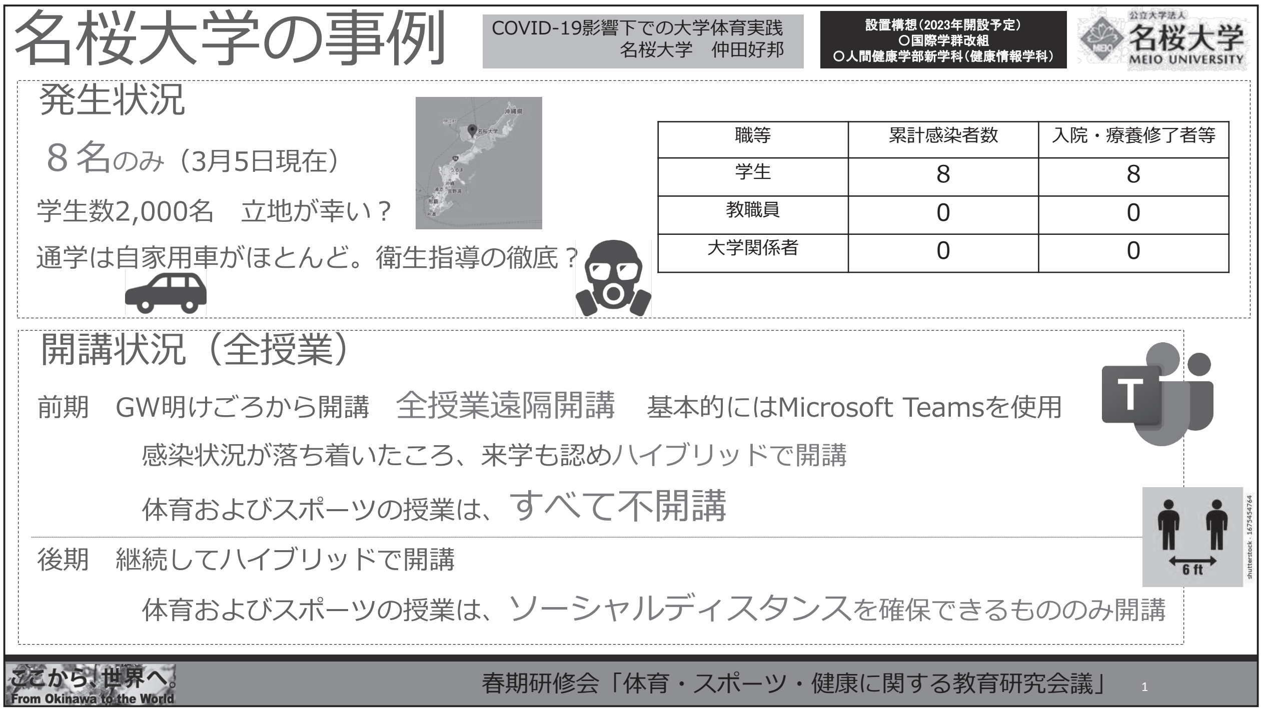
・1月5日授業開始（遠隔） → 遠隔講義併用
- → サッカーで動画課題を実施

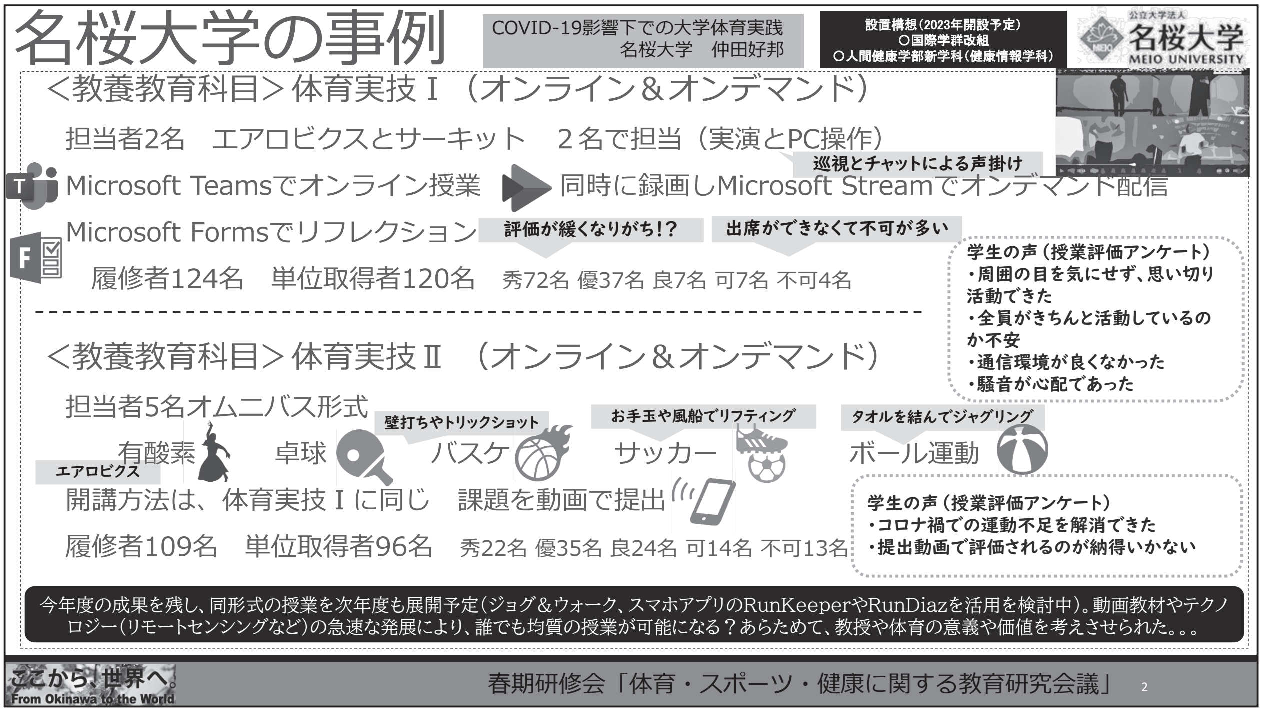
  - ・技術動画を撮影し提出
  - ・技術のポイントに関するレポート提出
- → 陸上競技でSALKO活用

  - ・スクリーンショットで画面を提出
  - ・至適スピードによるランニング
  - ・レポートの提出

学校法人 順正学園 Junsei Educational Institution

仲田　好邦（名桜大学）


名桜大学の事例
COVID-19影響下での大学体育実践
名桜大学　仲田好邦
設置構想（2023年開設予定）
○国際学群改組
○人間健康学部新学科（健康情報学科）
公立大学法人
名桜大学
MEIO UNIVERSITY
発生状況
８名のみ（3月5日現在）
学生数2,000名　立地が幸い？
通学は自家用車がほとんど。衛生指導の徹底？
職等 | 累計感染者数 | 入院・療養修了者等
学生 | 8 | 8
教職員 | 0 | 0
大学関係者 | 0 | 0
開講状況（全授業）
前期　GW明けごろから開講　全授業遠隔開講　基本的にはMicrosoft Teamsを使用
感染状況が落ち着いたころ、来学も認めハイブリッドで開講
体育およびスポーツの授業は、すべて不開講
後期　継続してハイブリッドで開講
体育およびスポーツの授業は、ソーシャルディスタンスを確保できるもののみ開講
6 ft
ここから、世界へ。
From Okinawa to the World
春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」
1


名桜大学の事例
COVID-19影響下での大学体育実践
名桜大学　仲田好邦
設置構想（2023年開設予定）
○国際学群改組
○人間健康学部新学科（健康情報学科）
公立大学法人
名桜大学
MEIO UNIVERSITY
＜教養教育科目＞体育実技Ⅰ（オンライン＆オンデマンド）
担当者2名　エアロビクスとサーキット　２名で担当（実演とPC操作）
巡視とチャットによる声掛け
Microsoft Teamsでオンライン授業
同時に録画しMicrosoft Streamでオンデマンド配信
Microsoft Formsでリフレクション
評価が緩くなりがち!?
出席ができなくて不可が多い
履修者124名　単位取得者120名　秀72名 優37名 良7名 可7名 不可4名
学生の声（授業評価アンケート）
・周囲の目を気にせず、思い切り活動できた
・全員がきちんと活動しているのか不安
・通信環境が良くなかった
・騒音が心配であった
＜教養教育科目＞体育実技Ⅱ（オンライン＆オンデマンド）
担当者5名オムニバス形式
有酸素
エアロビクス
卓球
壁打ちやトリックショット
バスケ
お手玉や風船でリフティング
サッカー
タオルを結んでジャグリング
ボール運動
開講方法は、体育実技Ⅰに同じ　課題を動画で提出
履修者109名　単位取得者96名　秀22名 優35名 良24名 可14名 不可13名
学生の声（授業評価アンケート）
・コロナ禍での運動不足を解消できた
・提出動画で評価されるのが納得いかない
今年度の成果を残し、同形式の授業を次年度も展開予定（ジョグ＆ウォーク、スマホアプリのRunKeeperやRunDiazを活用を検討中）。動画教材やテクノロジー（リモートセンシングなど）の急速な発展により、誰でも均質の授業が可能になる？あらためて、教授や体育の意義や価値を考えさせられた。。。
ここから、世界へ。
From Okinawa to the World
春期研修会「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」
2

森　正明（中央大学）

コロナ下の大学体育

中央大学
文学部の事例
With コロナ、with 学生
どのように取り組み、成果が出せたのか？

まさかパンデミックになるとは

＊ 4月のスタート時は、そのうちおさまる→特別休講期間
2週、特別措置期間2週（この4週で全履修科目登録）
シラバス変更（コメント欄に追記、内容と成績基準など）
5月末まで→テキスト中心「健康スポーツ50講」3000円、
文学部（実技・講義を含め通年2単位必修）
前期（後半7回：専任、兼任で作成した動画（ストレッチ、
トレーニング中心）やプレゼン資料（解説付き）を用いて
授業展開　。上記、テキストを併用する授業も実施。
必ずしもライブ（月1、2、3限、金1、2、3限）ではなく
オンデマンドも行った。各回の評価は、すべてmanabaの
「レポート課題」による平常点評価。

森　正明（中央大学）

夏季期間集中授業の取り組み

- 前期（14週）＋集中5日間のゴルフとテニスの事例
- 前半7週は、テキスト中心、後半は集中授業のためのライブ授業ゴルフ（技術：グリップ、スイング幅と飛距離の関係、勝みなみの動画（you tube)紹介など、テニスについてもグリップ、テークバック、you tubeのダブルス動画紹介などを行い、その後は実習に向けた作業を行った。
- 具体的なコロナ対応：実習参加の同意書、健康診断（心電図を含む）、授業日程（5日間の検温態勢、練習時間と休息等：三密を避けた更衣室、クラブやラケットの個人占有使用、熱中症対策）など通常授業よりも安全対策ができていることを授業で確認し、3種類の書類を各家庭に郵送し、実習態勢を整えた。

取り組み（2）

- ゴルフ：大学で4日間、Gちゃれ1日の予定
- テニスは：菅平で4泊5日
- どちらも大学キャンパスで、2グループに分けて実施態勢：7月最終週（テニス）と8月1週目（ゴルフ）どちらも通学1時間以内（できれば、45分、バス入構も検討）。
- この時点で、一回目の中止（大学入構基準の緩和無）
- 9月2週目（テニス）と3週目（ゴルフ）
- 入構基準は緩和されたが2週目中止、3週目は学生と協議し中止（大学の健康診断が実施された）＊大学健診結果は実習に間に合わないので費用は実費となる。

集中授業（同意書）

文学部体育夏季集中授業に関するお願い（承諾書）

* 2020年度は、コロナ対応もあり4月からオンライン中心授業となりました。
* これまで体育の科学（演習）もオンラインで「レポート」提出を行いましたが、夏季集中授業については、コロナ対応、熱中症対策などの安全配慮を行い実施することが認められました。
* 実施内容の詳細は、要項（別紙）に掲載していますが事前の配慮として（健康診断証明書、
* 保護者の承諾書）が必要となります。
* この書類は、実習開始までに準備していただき、ガイダンス日もしくは実習初日に持参させて下さい。
* 実習中の配慮として、毎日自宅での検温をしていただき熱があるや体調が優れない場合は、
* 参加しないよう勧めてください。
* 代替措置として、「レポート」を後日提出していただくことになっていますので、無理をしての参加は控えてください（学生には、事前授業で説明済み）。
* 実習に際しては、授業用具の個人使用や休憩場所としての教室の個人占有スペースなどコロナ対応には十分な配慮態勢で実施予定です。熱中症予防については「暑さ指数（WBGT）」の計測も実施しながらの授業実施をすでに取り入れていますので、今回も実施予定です。
* 上記のような態勢での授業実施を行いますので、保護者の皆様のご理解をいただき実施していきたいと考えています。
* つきましては、保護者の方の署名捺印をいただき授業実施をさせていただきます。
* ご理解のほど、よろしくお願い致します。

種目名（　　　　　　）実習に参加させる　（　月　　日　～　月　　日　）

（学生氏名）
――――――――――――――――――――

（保護者氏名）
――――――――――――――――――――　印

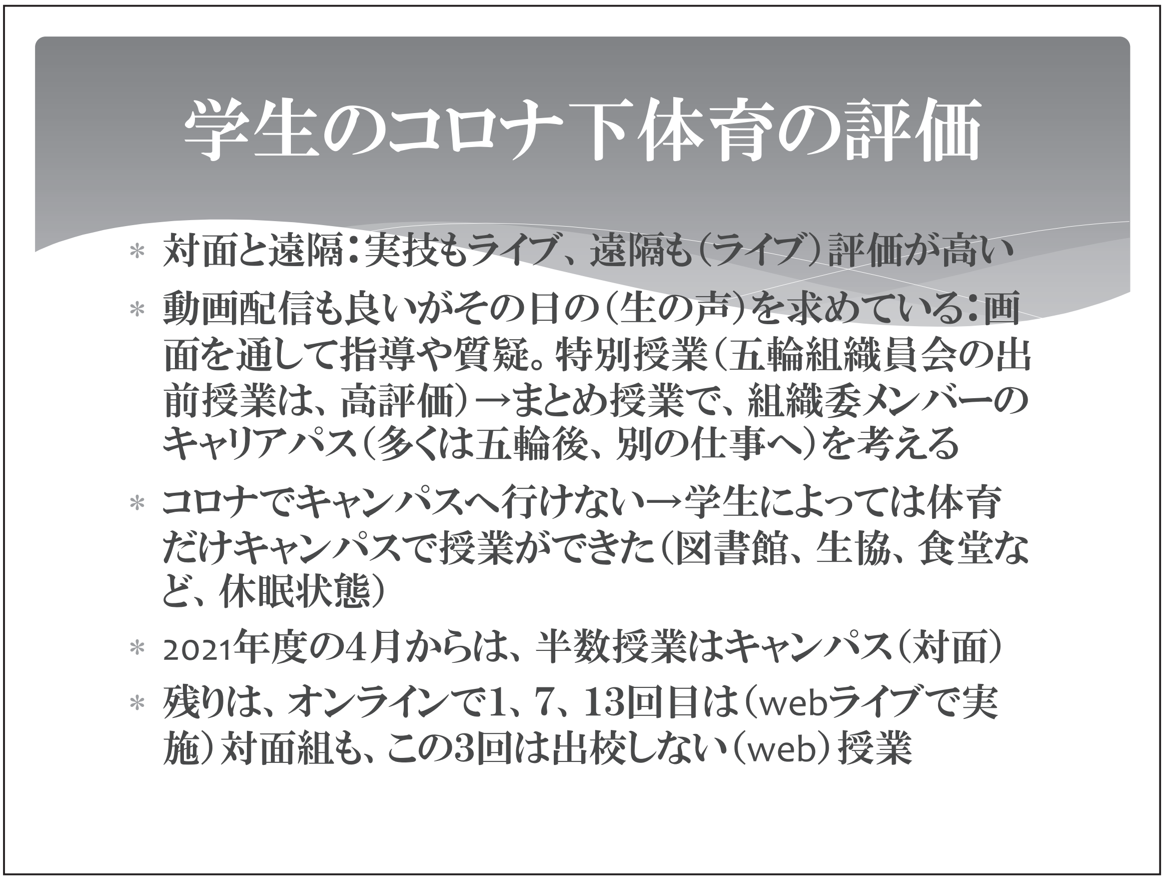
後期から対面実施
学生の希望により対面と遠隔

後期から語学、体育など実習を伴う教科は対面、基礎演習など1年次必修授業も可能な範囲で対面を実施することが決定。

* 後期の1、2回のライブ（webex）で確認：首都圏にいても通学時間やコロナ感染が心配で移動したくない学生は遠隔を選択、高知にいる学生なども遠隔のため→対面でテニス、遠隔はmanabaで動画ライブやレポート提出の2グループに分けて実施。

* 遠隔グループの力をどう伸ばすかが今後の課題。
* 講義科目→ハイブリッド型：文教室の対面者と遠隔者が同時進行で授業展開が可能
* 実技は、ハイブリッドが不可能なので2グループで今後も実施？
* 全国の教員と模索していくことになる？
* 中大（他学部）事例：後期から再抽選し遠隔希望者（原則ライブ動画）と対面（実技）実施者に分けて実施した（雨天時も他の教場で 実技を実施）。

森　正明（中央大学）


学生のコロナ下体育の評価
対面と遠隔：実技もライブ、遠隔も（ライブ）評価が高い
動画配信も良いがその日の（生の声）を求めている：画面を通して指導や質疑。特別授業（五輪組織員会の出前授業は、高評価）→まとめ授業で、組織委メンバーのキャリアパス（多くは五輪後、別の仕事へ）を考える
コロナでキャンパスへ行けない→学生によっては体育だけキャンパスで授業ができた（図書館、生協、食堂など、休眠状態）
2021年度の4月からは、半数授業はキャンパス（対面）
残りは、オンラインで1、7、13回目は（webライブで実施）対面組も、この3回は出校しない（web）授業

北　徹朗（武蔵野美術大学）

2021年3月13日大体連九州支部
春期研修会

2020年度の授業を振り返って
ー東京の実技系大学・武蔵野美術大学の事例ー

武蔵野美術大学教授
北　徹朗

＜本学のCOVID-19対応のポイント＞

①制作課題をメインとした大学であることの対応の難しさ
②LMSがない
③体育実技対面授業を2020年7月28日に再開（都内最速）
④共通科目は2021年度も引き続きオンライン授業が原則

本日の事例紹介

①前期・オンライン授業の経緯
②対面授業の再開（７月２８日）

北　徹朗（武蔵野美術大学）

①前期・オンライン授業の経緯

オンライン授業を進めるにあたっての大学の課題

①LMSがない
②各教育単位（研究室）で独自のオンライン授業を構築する必要
③モノづくりをメインとする大学のため、「オンライン」ではかなりの工夫が必要。

➡「専門科目をどう展開するか」が大学の主要課題
➡共通教養、特に体育科目は、
「どちらでも・・」という空気を感じる（北の主観）

足手まといになる状況は絶対避ける！オンライン授業を牽引する「学内のフロントランナー」の意気込み

オンライン授業を進めるにあたっての教員の課題

①ITリテラシーが著しく低い
②基本的なPCソフトが整っていない
③所有するPCのOSが極端に古い
④デバイスにカメラやマイクがついていない
⑤オンライン上のトラブルに対応できない
⑥オンライン授業に対する熱量が低い
⑦そもそもデバイスを所持していない

・・・・・等々

**2020年度前期に限っては、
「全教員が参加できるシステム構築」
で何とか急場を凌ぐ対応が最優先**

武蔵野美術大学　文化総合科目群「身体運動文化科目」

講義科目（2単位）

月曜1限：現代スポーツ論　　森　敏生（専任教授）
水曜2限：日常生活と健康　　北　徹朗（専任教授）
水曜3限：スポーツ映像論　　鬼丸正明（非常勤講師）
水曜4限：ゴルフビジネス論　　北　徹朗（専任教授）
金曜2限：人間の性と生　　堀川修平（非常勤講師）
土曜3限：スポーツマンガ研究　　青沼裕之（専任教授）

演習科目（2単位）

火曜4限：健康と身体運動文化演習ⅠA（テニス）　青沼裕之（専任教授）
水曜3限：健康と身体運動文化演習ⅢA（フィットネス）　北　徹朗（専任教授）
金曜4限：健康と身体運動文化演習ⅡA（バスケットボール）　森　敏生（専任教授）

実技科目（1単位）半期56コマ（年112コマ）

火曜日1限～4限
水曜日1限～4限
金曜日1限～4限
土曜日1限～4限

専任：3名
非常勤：22名
特別講師：8名
教務補助：3名

武蔵野美術大学における主な対応経緯（大学全体）

2月29日　卒業式・入学式の中止決定
3月12日　4月20日以降授業開始の決定
3月24日　（仮称）コロナ対策委員会立ち上げ
3月31日　Zoomを使ったことが無い教員のための練習会議
4月 1日　第1回コロナ対策委員会
4月 9日　第2回コロナ対策委員会
4月13日　第3回コロナ対策委員会
4月16日　第4回コロナ対策委員会
4月20日　第5回コロナ対策委員会
4月25日　「Teams使い方講座」（任意）
4月27日　第6回コロナ対策委員会
5月11日　オリエンテーション開始（オンライン）
5月18日　オンライン授業開始

武蔵野美術大学における主な対応経緯（大学全体）

5月25日　第7回コロナ対策委員会
6月 4日　第8回コロナ対策委員会
6月 8日　第9回コロナ対策委員会
6月15日　学内入構禁止解除
　　　　　授業時間変更（昼休み時間延長）
　　　　　　①午前・午後ルール
　　　　　　②教場、工房、アトリエ等の消毒

7月13日　専門科目の一部が対面授業再開
7月20日　第10回コロナ対策委員会
7月28日　身体運動文化・実技科目（通信教育課程）の
　　　　　対面授業再開

「体育関係」の対応経緯（身体運動文化研究室）

4月 1日　大学ゴルフ授業研究会がアンケート調査
　　　　　中間とりまとめ（24大学分）公表
4月 4日　複数教員による授業実施可否を大学当局に確認
4月 4日　大学ゴルフ授業研究会　アンケート最終とりまとめ
　　　　　・調査期間：2020年4月1日～3日
　　　　　・回答大学数：50大学（国立7、公立2、私立41）
4月 7日　身体研専任3名によるオンライン接続テスト
4月11日　シラバス書き換え準備開始
4月12日　非常勤講師へのネット環境、デバイス有無の調査、
　　　　　「身体運動文化科目ロードマップ」の作成
4月14日　授業方法の確定、レポート提出フォーム完成
4月15日　カリキュラム確定（担当者の曜日時限を移動）
4月15日　第1回非常勤講師接続テスト
4月17日　第2回非常勤講師接続テスト

「体育関係」の対応経緯（身体運動文化研究室）

4月25日　担当回（3回～4回分）授業テーマ締切
4月29日　第3回身体運動文化オンライン授業準備会議
4月30日　第4回身体運動文化オンライン授業準備会議

＜第3・4回会議次第：Zoom／2時間半＞
1、主任教授挨拶
2、本日の会議と授業開始までの流れの確認
3、授業スケジュール（主担当者の確認など）
4、主担当、副担当、進行役のそれぞれの役割
5、ZOOMでの授業の進め方の実際
6、模擬授業（主担当：青沼、進行役：北、副担当：森）
7、合同授業、第1回目（オリエンテーション）の授業方法
8、講義科目担当者の進捗状況確認
9、合同授業、2回目以降の授業について
10、期末レポートについて
11、その他

北　徹朗（武蔵野美術大学）

「体育関係」の対応経緯（身体運動文化研究室）

4月29日　授業用Zoomアカウントを10個準備
5月13日　第5・6回身体運動文化オンライン授業準備会議

＜第5回・第6回会議次第＞
1、主任教授挨拶
2、合同授業の流れの最終確認（出校希望者の使用教場確認）
3、緊急時（万が一学生がSOSを発した場合）の対応方法
4、Zoomでの授業の始め方、終わり方
5、合同授業Zoom教室URLとホストのログイン方法
6、その他

5月13日　これまでの非常勤向け説明資料をまとめて配信

Zoomによるオンライン授業（武蔵野美術大学身体運動文化）

講義科目（2単位）

月曜1限：現代スポーツ論　森　敏生（専任教授）
水曜2限：日常生活と健康　北　徹朗（専任教授）
水曜3限：スポーツ映像論　鬼丸正明（非常勤講師）
水曜4限：ゴルフビジネス論　北　徹朗（専任教授）
金曜2限：人間の性と生　堀川修平（非常勤講師）
土曜3限：スポーツマンガ研究　青沼裕之（専任教授）

演習科目（2単位）

火曜4限：健康と身体運動文化演習ⅠA（テニス）　青沼裕之（専任教授）
水曜3限：健康と身体運動文化演習ⅢA（フィットネス）　北　徹朗（専任教授）
金曜4限：健康と身体運動文化演習ⅡA（バスケットボール）　森　敏生（専任教授）

実技科目（1単位）半期56コマ（年112コマ）

火曜日1限～4限
水曜日1限～4限
金曜日1限～4限
土曜日1限～4限
→ 前期のみ3～4名の教員による「合同授業」に変更

授業の括り方（火1、水2の例）

【火曜日1限】
・健康と身体運動文化　3（バレーボール）
・健康と身体運動文化55（からだのメソッド）
・健康と身体運動文化61（フライングディスク）

健康と身体運動文化（身体運動文化実技）3・55・61

【水曜日2限】
・健康と身体運動文化　5（サッカー）
・健康と身体運動文化25（からだアートパフォーマンス）
・健康と身体運動文化59（バドミントン）
・健康と身体運動文化81（卓球）

健康と身体運動文化（身体運動文化実技）5・25・59・81

【水曜日1限】
健康と身体運動文化（身体運動文化実技）11・23・57
（教員A・教員B・教員C）

【水曜日2限】
健康と身体運動文化（身体運動文化実技）5・25・59・81
（教員D・教員E・教員F・教員G）

【水曜日3限】
健康と身体運動文化（身体運動文化実技）27・33・103
（教員H・教員I・教員J）

【水曜日4限】
健康と身体運動文化（身体運動文化実技）39・47・105
（教員K・教員L・教員M）

成績評価の方法

①毎回の授業内レポート：８点×９回＝72点満点
②期末レポート　：28点満点

＜授業内レポート記入フォーム＞

http://kita-labo.jp/em/spmail.cgid=report

授業内レポートの評点基準

＜授業要点200文字程度の評点＞
・３点（とてもよい）
・２点（よい）
・１点（不十分）

＜教員から与えられた課題400字程度の評点＞
・５点（とてもよい）
・４点（よい）
・３点（標準）
・２点（やや不十分）
・１点（不十分）

期末レポートの評点基準

4項目について1項目あたり7点満点で評価（合計28点満点）。「標準的」と判断した場合は4点と評価する。

＜評価観点＞
（1）レポートの構造は適切か。
（2）教員が出題した課題をベースに論じているか（逸脱していないか）。
（3）文字数は指示通り適切に書かれているか（極端に少なくないか）。
（4）オリジナリティの高い内容かどうか（コピペ疑いはないか）。

＜評点目安＞
７点：極めて優秀
６点：とてもよい
５点：よい
４点：標準
３点：やや劣る
２点：劣る
１点：極めて劣る

体育実技（1単位）の履修者数数　：　激減 ⇩

- 2017年前期　　1735名
- 2018年前期　　1623名
- 2019年前期　　1696名
- 2020年前期　　 787名

講義科目（2単位）の履修者数　：　激増 ⇧

- 水曜2限：日常生活と健康　180名　　※例年約40名程度
- 金曜2限：人間の性と生　　420名　　※例年約70名程度

演習科目（2単位）の履修者数　：　例年並み ⇨

※各授業定員20名

履修動向から推測される学生のメンタリティ

『実際にあまり身体を動かせないなら、【体育実技】は対面再開後に残しておきたい』

『その代わりに、単位取得に効率的な、2単位の講義を履修しよう』

↓

『実技減少、講義増加』の主な要因

②対面授業の再開（7月28日）

武蔵野美術大学の学生内訳（研究生除く）

学部（通学課程）：4308名
学部（通信教育）：2387名
大学院（修士・博士）：　354名

合　計　　　　　　：7049名

2020年5月現在

約2500名の学生が学ぶ通信教育課程

油絵学科	絵画表現コース 日本画表現コース
デザイン情報学科	デザイン総合コース
芸術文化学科	芸術研究コース

- 文化総合科目
- 造形総合科目
- 造形専門科目
- 教職科目

３日間連続（９:００～１７:３０）の過酷な？「体育実技」

フラメンコ

テニス

バドミントン

ゴルフ

フィットネス

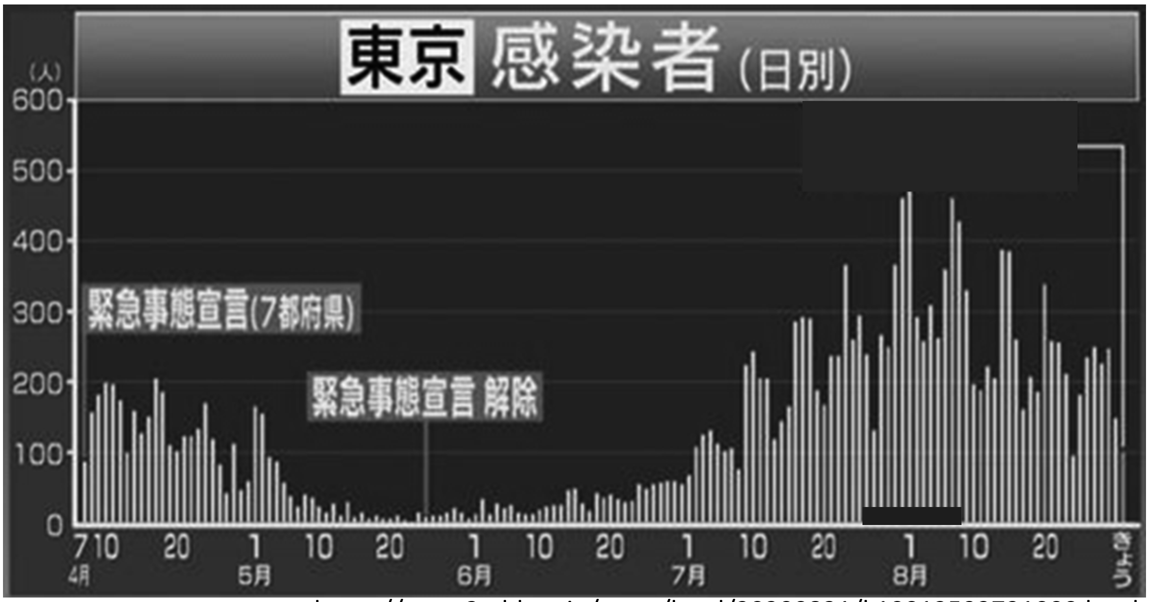
卓球

ムサビにおける「実技（実習）」の授業

両方とも“実技”

特に「体育実技」では、専門科目の実習とは異なる観点での「安全への配慮・対策」が求められる

スクーリング授業　<u>1期目</u>：7月28日、29日、30日
<u>2期目</u>：8月　4日、　5日、　6日



https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200831/k10012592721000.html

コロナ対応：定員の削減

（実際に受講した数）

<u>＜Ⅰ期＞7/28-7/30</u>
- フィットネス　35名 → 15名　・・・15名
- バドミントン　50名 → 24名　・・・12名
- テニス　40名 → 24名　・・・16名
- 卓球　30名 → 15名　・・・ 6名

<u>＜Ⅱ期＞8/4-8/6</u>
- フィットネス　35名 → 15名　・・・15名
- 護身武術　30名 → 15名　・・・14名
- ゴルフ　30名 → 30名　・・・16名
- フラメンコ　35名 → 15名　・・・14名

「フィットネス」授業の目標

自分自身の身体の現状を認識し、身体運動の重要性とエクササイズの方法（日常生活における身体運動を含む）について理解すること。

身体組成・骨密度・体力診断テストなどの測定を実施し、各自のコンディショニングと照合し自分自身の運動処方について考え、述べることができるようになること。

授業スケジュールの概要（写真は一昨年の夏）

第１日　午前：健康と身体運動文化全体オリエンテーション
~~自己紹介、簡単体力チェック（アイスブレイキング）~~、
フィットネス前提講義「運動はなぜ大切か」

午後：ストレッチングの理論と実践、身体組成と骨密度の測定、体力測定①、クーリングダウン

第２日　午前：~~朝のゲーム、~~ストレッチング、体力測定②、
これまでの自己データの評価

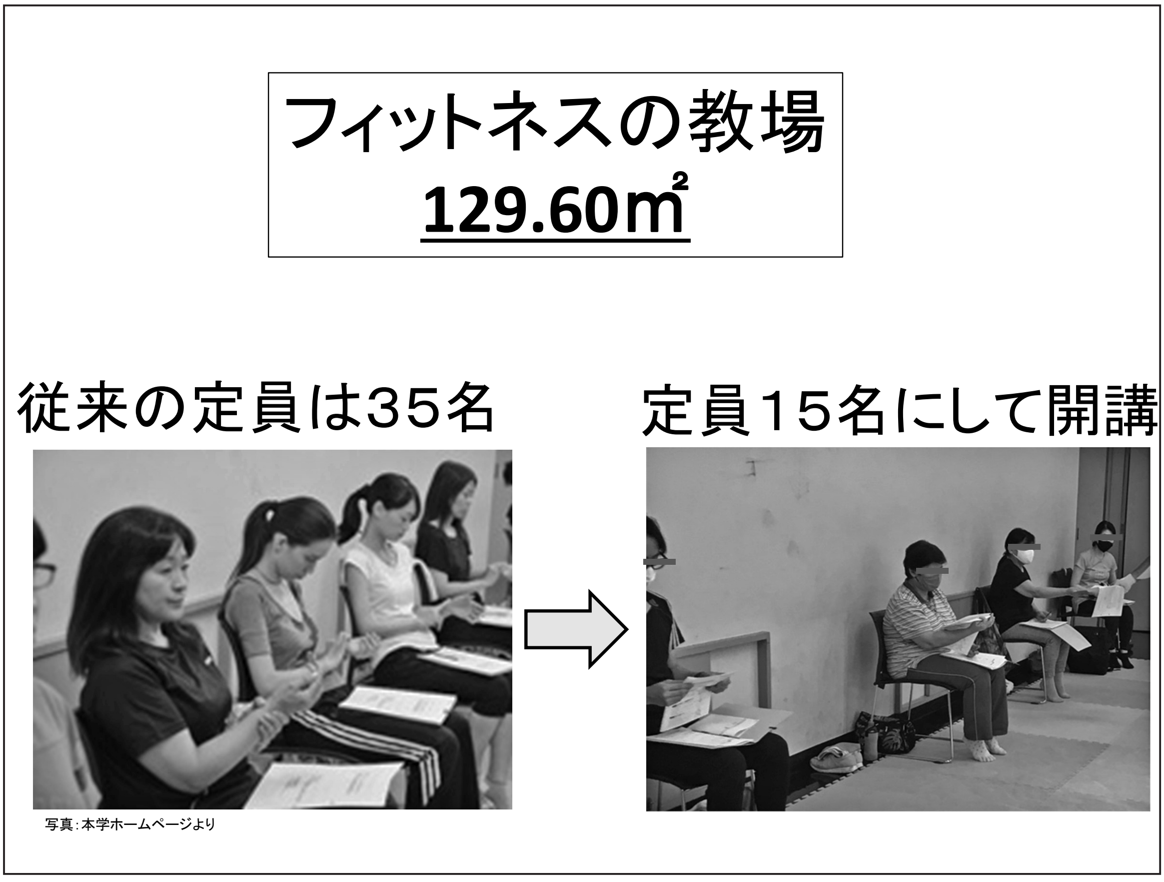
午後：「健康と運動」に関する講義（DVD視聴含む）、
~~ペアエクササイズ、~~バランスエクササイズ、
器具を使わない運動、クーリングダウン

第３日　午前：~~朝のゲーム、~~「骨格筋とトレーニング」に関する講義、トレーニングマシンの使い方

午後：トレーニングの実践と記録法、クーリングダウン、まとめの講義と小論文の作成

北　徹朗（武蔵野美術大学）

サイドレッグレイズ
バックキック
グーパー
マシントレーニング
トレッドミル
ダンベル


フィットネスの教場
129.60㎡
従来の定員は35名
定員15名にして開講
写真:本学ホームページより

2020年7月の授業風景（フィットネス）

・手袋の着用
・教員はフェイスシールド着用
・椅子の間隔
・私語は控える（マスク着用）

2020年7月の授業風景（フィットネス）

＜換気の徹底＞
・窓は開放
・エアコンと換気扇併用
・扇風機（屋外向き）
・サーキュレーター（室内向き）

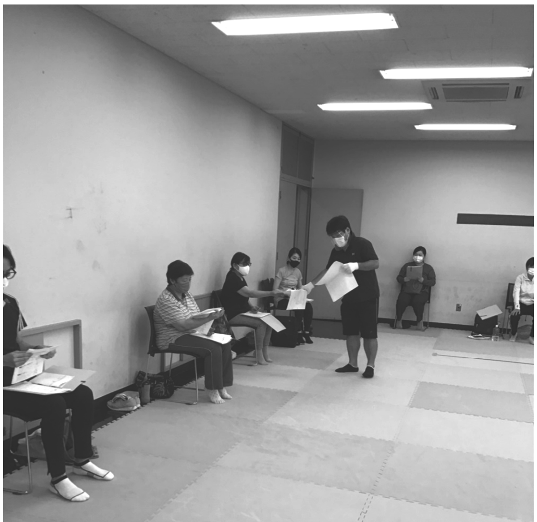
北　徹朗（武蔵野美術大学）

2020年7月の授業風景（フィットネス）
＜測定は個人で行う＞
・共用用具を触る際は軍手着用
・フィジカルディスタンスの徹底
・私語は控える（マスク着用）

2020年7月の授業風景（フィットネス）
精密機器の操作と消毒は教員が実施

研究室に感染防御用品・消毒用品は大量にストック

2020年7月の授業風景（フィットネス）



北　徹朗（武蔵野美術大学）

対面授業の再開（7月28日～）

＜武蔵野美術大学通信教育課程スクーリング＞
第１期：2020年7月28日（火）～30日（木）
第2期：2020年8月　4日（火）～　6日（木）

＜開講種目＞
・フィットネス
・テニス
・卓球
・フラメンコ
・バドミントン
・護身武術
・ゴルフ

ガイドラインを作成
①総論（全体）、②各論（種目別）

・後期対面授業でベースとなる経験
・他の大学でも先行例として参考に

スクーリング経験を踏まえた教場・種目別ガイドライン

＜アリーナ種目＞
①バスケットボール
②バドミントン
③バレーボール
④和太鼓

＜柔道場種目＞
①からだのメソッド
②フィットネス演習
③合気護身術
④空手護身術
⑤ボディワーク
⑥エチュード

＜卓球場種目＞
①卓球

＜舞踊場科目＞
①フラメンコ
②からだアートパフォーマンス
③日本民俗舞踊

＜グラウンド種目＞
①サッカー
②ミニサッカー
③フライングディスク
④軟式野球
⑤ゴルフ

＜テニスコート種目＞
①テニス
②ソフトテニス

＜総論的なガイドライン＞

2021年度の授業

●文化総合科目（共通教養）はオンラインを継続
●但し、体育実技・演習については対面授業で実施
●各授業ごとに詳細な実施ガイドラインを作成
●各ガイドラインは随時修正を加えている
　→例えば、マスク着用に関する事項や消毒方法

終

ご清聴ありがとうございました

武蔵野美術大学美術館

武蔵野美術大学図書館

藤本　敏彦（東北大学）

東北大学

R2/3春期研修会「体育・スポーツ健康に関する教育研究会議」

COVID-19影響下での大学体育授業実践

東北大学での対応

東北大学　藤本敏彦

開講形式

前期
- 4月の初期に完全にオンライン授業を決定（全国・留学生が多く、8月までに入国や安全が見込めないなど）
- 開始時期は5月GW開け、休日を減らすことと8月第2週までの開講で15週間を確保

後期
- 原則実技を再開。しかし12月の感染者の増加で1月よりオンライン授業となった。
- 一部、当初よりオンライン希望者向けにオンライン授業を残した。

講義形式

前期
- 原則各教員に委ねられた。オンラインはグーグルクラスルームを使用した。
  - 例1）オンディマンドでの15分の講義（コーチングやチームマネージメント）と独自の運動コンテンツを配信による自主運動
  - 例2）オンタイムでのトレーニング指導。カメラを使い40人を指導。
  - 例3）　武道などは競技種目の動画を作成し、オンディマンドで型を中心に練習を行う。

後期
- 球技種目と弓道は各種目人数制限をして密にならないように実施。
- 教員、学生とも各自検温値を申告。消毒後実技を実施。
- 空手はオンディマンドでの授業を継続。
- 体調不良者、中途COVID不安者などはオンライン授業への変更可能。
- 更衣室は男子を武道場として使い、女子は更衣室（LGBT学生への配慮ができなかった）。
- 普段着の参加も可能。

評価
- 令和2年度に限り合・否（A/D）判定
- オンタイムの授業では参加回数で判定。
- オンディマンドでは毎回のレポート報告で判定。

東北大学

藤本　敏彦（東北大学）

今回のCOVID-19対応で気付いたこと

1. ICTの実践
・思っていたよりも使いやすく進化している・・・。
・しかし駆使する技術をつけることが必要。

2. 学生の過去の学習や体験を使うという意識を持つ
・私の授業はコーチングとチームマネージメントの基礎を学びソフトボールで経験(実践)すること。
・ COVID-19禍で実践ができなかった。
・授業内容をトレーニング主体に変更しようと考えたが・・・。
・しかし大学生ならばこれまでスポーツ、課外活動、体験学習、委員会など様々な体験をしている。
・実践が叶わなければ過去の経験を使い、この授業と関連付けることも一案。
・学生さんに理解と協力を求めればいい。

授業計画

目標：知識を経験に、経験を知識に替える。

1. ガイダンス

コーチング
2. ①コミュニケーション
3. ②集団の生産性
4. ③集団凝集性
5. ④リーダーシップ
6. ⑤集団規範
7. ⑥まとめ

チームマネジメント
8. ①学習者評価
9. ②学習指導:フィードバック
10. ③学習指導:運動技能指導の方法
11. ④学習形態
12. ⑤省察
13. ⑥まとめ
14. スポーツ心理・スポーツの授業と社会をつなぐ
15. コンディショニング

藤本　敏彦（東北大学）

学生レポート一例

コミュニケーション
　人間のコミュニケーションは対面ですら感情や情報がうまく伝わらない場面が多いので、現在のネット社会では、相手がどのように自分の言葉を受け取るのかを直接、間接の会話にかかわらず、**お互いに思いやる気持ちがとても重要**であると考えられる。私自身、過去に自分が言った言葉が相手に全く違うような解釈をされてしまい、いらだったこともある。**しかし、後々考えれば自分の言葉が足りていないことが分かった。**このことからも、コミュニケーションをとる上では、**自分の言葉が相手に伝わるかを考え、さらに表情や声色をつけて、相手に伝わりやすくすることが大事**である。

学習者理解・評価
　中学の吹奏楽部、高校のオーケストラ部の時に、年に1度**プロの指導者**の方をお呼びしてレッスンを受けていた。その時の指導は、全く経験や知識の押し付けではなく、**生徒たちの心情や考え方をよく分かっていたもので**、プロの指導のすばらしさを知った。概念的なことも比喩を用いて教えてくれたし、**私たちが何を分からないのかを真剣に考えながら**しどうしてくれた。正にこれが学習者理解だったのであると今回の授業で学んだ。

学習形態
　グループ学習をする際、**何回かグループを編成し直すと、そのグループ毎に考え方の異なる人が居るのはもちろんであり、さらにグループを構成する上での自分の立場も変わる。**授業の中ではこれで完結するが、今後**社会に出てからはなにか物事をなすときにグループを組み、意見を統合して協調性を持つことが不可欠**になるので、学習時にグループという形態を取り入れることは非常に大切だと思う。

省察
　一人だけで反省するのではなく、**反省点を話し合うことはとても大事**だと思う。自分も、実際に高校の部活では**練習試合後に相手へ自分のチームの良かった点と悪かった点を聞きに行く**という決まりがあった。これは**客観的な意見を聞けるので非常に有効**なものだった。これから社会に出て、立場が上がって行くにつれ、そうした意見を聞ける機会は少なくなると思うが、**客観的意見を聞くことを忘れずに生きていきたい**。

スポーツの授業を社会につなぐ　意見の対立について
　自分も何かを議論する際に対立になりそうなことを避けてしまうことがあったと思った。この記事を読んで、対立とは反目や人間関係の悪化を生むものではなく、**むしろ新たな視点や価値といったよいものを生むもの**だと感じたので、**自分の意見を尻込みすることなく積極的に発言していきたい**と思った。また、他のメンバーも発言しやすくなるよう、組織でこのような考え方を共有していけたらよいと思った。

トレーニング感想

はじめは単純な動きばかりで案外15分も余裕にできるのではないかと思ったが、2週目が終わる頃には肩やふくらはぎが辛くなっていた。5周目は体を動かすのがやっとで、ジャンプしてもほとんど跳べていなかったと思う。音楽に合わせて踊るだけなので楽しく行うことはできたが、強度は想像以上だった。

周りへの迷惑も考え、やや控えめにハンズクラップを行いました。今までこういった運動をしたことがなかったので、最初は軽いものだと思っていましたが、いざやってみると控えめにやっても5分ほどで下半身が重くなりました。また、体を大きく動かすほど負荷も大きくなるように感じました。きっとアップテンポな音楽が流れていなかったら、もっときつく感じるだろうと思い、運動をする際の気持ちの大事さを実感しました。

ハンズスクラップは思ったより大変だったので、途中に休憩を入れて行いました。最初は慣れませんでしたが徐々に慣れていき、音楽だけでも踊れるようになりました。前の授業がテストだったこともあり、とてもリフレッシュでき、非常に活力に満ちました。普段からHIITなどは行っていますが、休憩なしの持久力が必要なものは久しぶりに行ったため、良い刺激となりました。持久力系の運動も普段の運動に取り入れていきたいです。

まとめ

・やはり対面が効果的!
・今後ICTも有効な手段になる。
・目的の明確化と学生の理解が重要。
・ICTは学生さんの協力と理解、信頼がより重要!